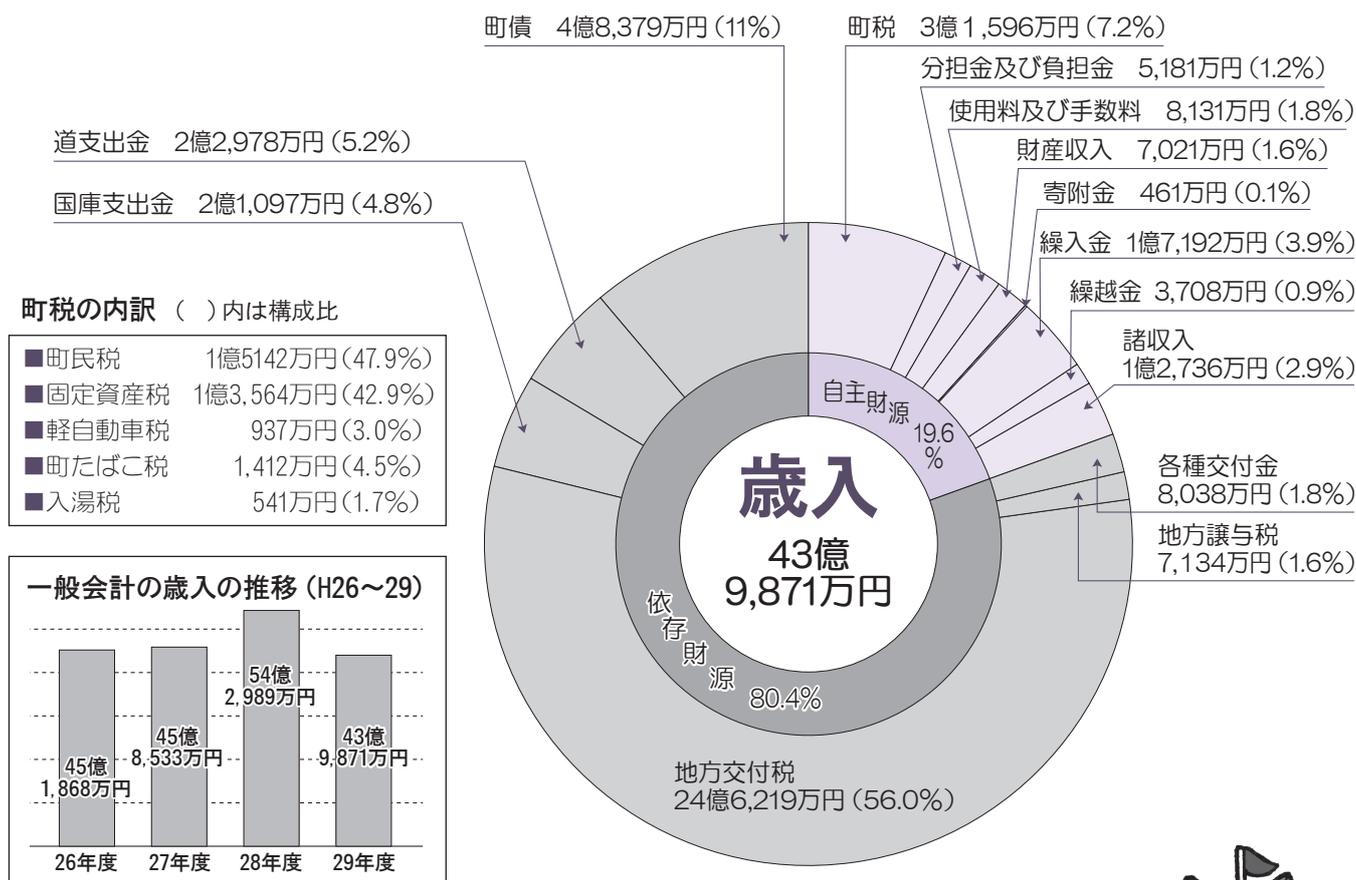


まちのお財布事情をお知らせします

平成29年度決算の状況



一般会計の決算概要

一般会計の決算状況は、円グラフに示すとおりです。歳入が43億9,871万円（前年度対比19%減）、歳出が42億3,551万円（前年度対比20%減）で、差引額は1億6,320万円となりました。

歳入は、その財源の性格から、「自主財源」と「依存財源」に分けられます。円グラフで見ると、置戸町の自主財源は歳入全体の19.6%、依存財源は80.4%の割合となっており、私たちの町の最も大きな財源は依存財源である地方交付税で、歳入全体の56%となっています。

一方、歳出総額は42億3,551円で、その内訳を見てみると、認定子ども園施設型給付費負担金や老人福祉施設入所者措置費などが増額した民生費

昨年は防災行政無線のデジタル化更新工事がありました



が最も多く、9億242万円、給与費が5億9,162万円、公債費が4億9,387万円と続いています。

健全な財政運営には、歳入と歳出の均衡を維持しながら、経済情勢や町民のみなさんの要望に対応できるだけの弾力性が必要です。置戸町を取り巻く財政状況は年々厳しさを増していますが、今後も限りある財源を有効活用しながら、行財政改革による歳出と各事業の見直し、重点的に行う事業の選択など、より効果的な財政運営に努めていきます。